



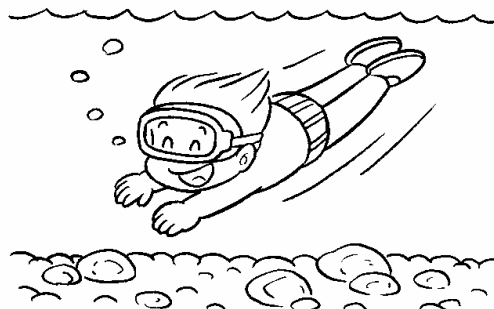
## 水中めがねは、どんなものを選ぶばいいの

### 水中めがねを使うのは

水中めがねは、泳ぐときや、水の中を観察するときに使います。

水中めがねをかけていると、目に水が入らないので、目をあけたままでも泳げます。

また、水の中を観察するときに、水の上からだと、水面の光の反射で見えにくい水の中が、水中めがねを使って見ると、よく見えるので便利です。



目をあけたままで泳げる

### 水中めがねは、顔に合ったものを選ぶ

水中めがねの、とう明な部分は、プラスチックでできているものと、ガラスのものとがあります。プラスチックのものは、軽いのですが傷がつきやすく、ガラスのものは、傷はつきにくいのですが、重くて割れやすいという特徴があります。

また、形には、とう明な部分が両目に分かれている、二つ目玉のものと、一つになっている一つ目玉のものとがあり、自分が使いやすいほうを、選ぶようにします。

しかし、水中めがねで、いちばん大事なものは、中に水が入ってこないことですので、かけてみて、顔にぴったり吸いつくくらいのものを選びましょう。これは、一つ目玉のものの場合、鼻から息を吸いこんでみると、たしかめられます。(監修・青木 国夫)



草むらの生き物や、石の下の生き物の観察ができる。

